



## リモート接続先プロファイル

---

[一括管理(Bulk Administration)] メニューを使用すると、Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル) を一括してフォーマット、挿入、削除、エクスポートできます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページを通じて個々に更新する必要はありません。

- 「リモート接続先プロファイル テンプレート」 (P.59-1)
- 「リモート接続先プロファイルのファイル形式」 (P.59-7)
- 「リモート接続先プロファイルの挿入」 (P.59-12)
- 「リモート接続先プロファイルの削除」 (P.59-14)
- 「リモート接続先プロファイルのエクスポート」 (P.59-15)

## リモート接続先プロファイル テンプレート

リモート接続先プロファイル テンプレートを使用して、デバイス プール、ロケーション、コーリング サーチ スペース、プレゼンス グループ、プライバシー情報など、リモート接続先に共通のアトリビュートを定義できます。

次のトピックを使用して、BAT リモート接続先プロファイル テンプレートに関する作業を行います。

- 「リモート接続先プロファイル テンプレートの検索」 (P.59-1)
- 「リモート接続先プロファイル テンプレートの作成」 (P.59-3)
- 「リモート接続先プロファイル テンプレートの回線の追加または更新」 (P.59-3)
- 「リモート接続先プロファイル テンプレートの削除」 (P.59-4)

## リモート接続先プロファイル テンプレートの検索

複数の Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル) テンプレートに対応できるように、Cisco Unified Communications Manager では、特定の条件に基づいて特定のテンプレートを見つけることができます。テンプレートを見つける手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profiles)] > [リモート接続先プロファイルテンプレート (Remote Destination Profile Template)] の順に選択します。

[ リモート接続先プロファイルテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、テンプレートを検索します。

**ステップ 2** 最初の [ 検索対象: UDP テンプレート、検索条件:(Find UDP Templates where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ 名前 (Name)]
- [ 説明 (Description)]
- [ デバイスプール (Device Pool)]
- [ コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

2 番目の [ 検索 リモート接続先プロファイル、検索条件:(Find Remote Destination Template where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ が次の文字列で始まる (begins with)]
- [ が次の文字列を含む (contains)]
- [ が次の文字列で終わる (ends with)]
- [ が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [ が空である (is empty)]
- [ が空ではない (is not empty)]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、[ 検索 (Find)] をクリックします。




---

**ヒント** データベースに登録されているすべてのリモート接続先テンプレートを検索するには、検索テキストを入力せずに [ 検索 (Find)] をクリックします。

---

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ テンプレート名 (Template name)]
- [ 説明 (Description)]
- [ デバイスプール (Device Pool)]
- [ コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件に一致するテンプレート名をクリックします。

[ リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

---

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロファイル テンプレートの作成

リモート接続先プロファイルを一括して追加するためのテンプレートを作成する手順は、次のとおりです。

- 
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profiles)] > [リモート接続先プロファイルテンプレート (Remote Destination Profile Template)] の順に選択します。
  - ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。[リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 3** 表示されたフィールドに設定の詳細を入力します。詳細については、「[リモート接続先プロファイルテンプレートのフィールドの説明](#)」(P.59-5) を参照してください。
  - ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
  - ステップ 5** トランザクションが完了したことがステータスに示されたら、回線アトリビュートを追加することができます。
- 

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロファイル テンプレートの回線の追加または更新

次の手順を実行すると、BAT テンプレートに複数の回線を追加したり、既存の回線を更新したりすることができます。

### 手順

- 
- ステップ 1** 「[リモート接続先プロファイル テンプレートの検索](#)」(P.59-1) の手順に従って、回線を追加する RDP テンプレートを検索します。
  - ステップ 2** [リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウの [割り当て情報 (Association Information)] 領域で、[回線 [1] - 新規 DN を追加 (Line [1] - Add a new DN)] をクリックします。
  - ステップ 3** [表 3-2](#) で説明されている回線設定値に対して、適切な値を入力または選択します。この回線用に選択する設定値は、このバッチ内のすべての RDP で使用されます。



(注) 適切な値を入力または選択した後、このページに戻って手順を完了する必要があります。

- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。  
BAT によって、回線が電話機テンプレート設定に追加されます。

**ステップ 5** その他の回線の設定値を追加するには、[ステップ 2](#)～[ステップ 4](#)を繰り返します。



(注)

[回線テンプレートの設定 (Line Template Configuration)] ウィンドウの右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリスト ボックスから [検索/リストに戻る (Back to Find/List)] を選択すると、[電話番号の検索と一覧表示 (Find and List Directory Numbers)] ウィンドウが表示されます。既存の回線テンプレートを検索するには、適切な検索条件を入力して、[検索 (Find)] をクリックします。新しい回線テンプレートを追加するには、[回線テンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Line Templates)] ウィンドウで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

回線テンプレートには、英数字を使用することをお勧めします。番号を指定すると、実際の電話番号と競合する可能性があるためです。英数字を使用することで、コール ピックアップ グループ番号やコール パーク番号などの情報との競合も回避できます。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロフィール テンプレートの削除

RDP テンプレートが不要になった場合は、削除することができます。テンプレートを削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** 「[リモート接続先プロフィール テンプレートの検索](#)」(P.59-1) の手順に従って、削除する RDP テンプレートを検索します。
- ステップ 2** [リモート接続先プロフィールテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウで、削除するテンプレートの横のチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- 削除操作を確認するように求めるメッセージが表示されます。
- ステップ 3** [OK] をクリックして、テンプレートを削除します。[リモート接続先プロフィールテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウのテンプレートのリストから、テンプレート名が消去されます。



注意

特定の RDP テンプレートを使用するジョブを送信し、そのテンプレートを削除すると、ジョブも削除されます。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロファイル テンプレートのフィールドの説明

表 59-1 では、リモート接続先プロファイルテンプレートのフィールドについて説明します。



(注)

BAT ユーザ インターフェイスでは、アスタリスクが付いているフィールドには値を入力する必要があります。アスタリスクの付いていないフィールドはオプションです。

表 59-1 リモート接続先プロファイル テンプレートのフィールドの説明

フィールド	説明
[ テンプレート名 (Template name)]	テンプレート名を入力します。
[ 説明 (Description)]	作成する RDP テンプレートの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックslash (\)、または山カッコ (<>) は使用できません。
[ ユーザ ID (User ID)]	Cisco Unified Communications Manager ユーザ ID を入力します。
[ デバイスプール (Device Pool)]	このグループの RDP 用のデバイス プールを選択します。
[ コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	このグループの RDP のコーリングサーチ スペースを選択します。  コーリングサーチ スペースは、ルートパーティションの集合を指定するものです。ルートパーティションの集合は、ダイヤルされた番号のルーティング方法を決定するために検索されます。
[ メディアリソースリスト (Media Resource List)]	このグループの RDP 用のメディア リソース グループ リスト (MRGL) を選択します。  MRGL は、優先順位が付けられたメディア リソース グループのリストを指定します。アプリケーションは、MRGL に定義されている優先順位に従って、使用可能なメディア リソースの中から、必要なメディア リソースを選択できます。
[ ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)]	このグループの RDP のユーザ保留オーディオ ソースを選択します。  ユーザ保留オーディオ ソースは、ユーザがコールを保留にしたときに再生される音楽のオーディオ ソースを特定します。
[ ネットワーク保留 MOH 音源 (Network Hold MOH Audio Source)]	システムがコールを保留にすると (たとえば、ユーザがコールを転送する間や電話会議またはコールパークを開始する間) に再生される保留音オーディオ ソースを選択します。
[ ロケーション (Location)]	このグループの RDP の適切なロケーションを選択します。  ロケーションは、このロケーションの着信コールおよび発信コールに使用可能な合計帯域幅を指定します。ロケーションを [ なし (None) ] に設定すると、ロケーション機能がこのデバイスの消費する帯域幅を管理しないことを示します。

表 59-1 リモート接続先プロフィール テンプレートのフィールドの説明

フィールド	説明
[ ユーザロケール (User Locale) ]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、電話機ユーザ インターフェイスに関連付けられたロケールを選択します。ユーザ ロケールは、言語およびフォントなどのユーザをサポートする詳細情報のセットを識別します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager では、このフィールドは、ローカリゼーションをサポートしている電話機モデルにのみ使用可能になります。</p> <p>(注) ユーザ ロケールが指定されていない場合、Cisco Unified Communications Manager はデバイス プールと関連付けられたユーザ ロケールを使用します。</p> <p>(注) (電話機に) 英語以外の言語で情報を表示する必要がある場合、ユーザ ロケールを設定する前に <b>Locale Installer</b> をインストールして、確認します。Cisco Unified Communications Manager の <b>Locale Installer</b> のマニュアルを参照してください。</p>
[ プライバシ (Privacy) ]	<p>[ プライバシ (Privacy) ] ドロップダウン リスト ボックスで、[ オン (On) ]、[ オフ (Off) ]、または [ デフォルト (Default) ] を選択します。</p> <p>設定情報の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。</p>
[ プレゼンスグループ (Presence Group) ]	<p>RDP によってプレゼンス エンティティのステータスを受信するには、電話番号に適用されるプレゼンス グループのステータスを [ プレゼンスグループの設定 (Presence Group Configuration) ] ウィンドウに示されるとおり表示するよう許可されているプレゼンス グループを選択します。</p> <p><b>ヒント</b> プレゼンス機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。</p>
[ 再ルーティング用コーリング検索スペース (Rerouting Calling Search Space) ]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、再ルーティングに使用するコーリング検索スペースを選択します。</p> <p>参照側の再ルーティング用コーリング検索スペースが、参照側からターゲットへのルート検索に使用されます。コーリング検索スペースの再ルーティングが原因で参照操作に失敗した場合、参照プリミティブは、要求を拒否して「405 Method Not Allowed」というメッセージを返します。</p> <p>リダイレクション (3xx) プリミティブおよび転送機能も、再ルーティング用コーリング検索スペースを使用して、リダイレクトからまたは転送からターゲットへのルートを検索します。</p>
[ プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ) ]	<p>このチェックボックスをオンにすると、Cisco Unified Communications Manager では、内線コールのために受信したすべての表示が無視されます。</p>

**追加情報**

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロフィールのファイル形式

次のトピックでは、テキスト エディタを使用して作成する CSV データ ファイルのファイル形式設定に関する情報を提供します。

- 「テキスト エディタを使用したリモート接続先用 CSV データ ファイルの作成」(P.59-7)
- 「リモート接続先のファイル形式の検索」(P.59-7)
- 「リモート接続先プロフィールのファイル形式の設定」(P.59-8)
- 「ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け」(P.59-12)
- 「リモート接続先プロフィール用のテキストベース CSV ファイルの作成」(P.A-27)

## テキスト エディタを使用したリモート接続先用 CSV データ ファイルの作成

値がカンマで区切られた ASCII テキストを複数行使用して、カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成することができます。カンマ区切り値 (CSV) ファイルでは、テキスト情報は表形式で与えられます。リモート接続用のテキストベース CSV ファイルの詳細については、「[リモート接続先プロフィール用のテキストベース CSV ファイルの作成](#)」(P.A-27) を参照してください。

デフォルトのリモート接続先のファイル形式は、修正することも削除することもできません。



(注)

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) スプレッドシートを使用して CSV データ ファイルを作成する場合は、スプレッドシート内でファイル形式を作成することができます。テキスト エディタを使用して CSV データ ファイルを作成する場合は、ファイル形式を作成するか、デフォルトのファイル形式を使用する必要があります。値は、テキストベースのファイルに、ファイル形式で指定されている順序と同じ順序で入力します。

**追加情報**

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先のファイル形式の検索

リモート接続先のファイル形式を検索する手順は、次のとおりです。

**手順****ステップ 1**

[一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロフィール (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロフィールのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] の順に選択します。

[リモート接続先プロフィールのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** ウィンドウの右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスで、[検索/リストに戻る (Back to Find/List)] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 3** [検索 リモート接続先プロファイルのファイル形式、検索条件: 形式名 (Find Remote Destination File Format where Format Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
- [ が次の文字列で始まる (begins with)]
  - [ が次の文字列を含む (contains)]
  - [ が次の文字列で終わる (ends with)]
  - [ が次の文字列と等しい (is exactly)]
  - [ が空である (is empty)]
  - [ が空ではない (is not empty)]
- ステップ 4** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。



**ヒント** すべてのリモート接続先プロファイルの形式を検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

- ステップ 5** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 3 ~ 4 を繰り返します。
- ステップ 6** レコードのリストから、検索条件に一致するファイル形式名をクリックします。  
[リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

#### 追加情報

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロファイルのファイル形式の設定

次のトピックでは、リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成、検索、コピー、変更、または削除について説明します。


- 「ファイル形式の作成」(P.59-9)
- 「ファイル形式のコピー」(P.59-10)
- 「ファイル形式の修正」(P.59-10)
- 「ファイル形式の削除」(P.59-11)



## ファイル形式の作成

テキストベースの CSV データ ファイル用のファイル形式を作成する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロフィール (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロフィールのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] の順に選択します。
- [リモート接続先プロフィールのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [形式名 (Format Name)] フィールドに、このカスタム形式の名前を入力します。
- ステップ 3** [デバイスフィールド (Device Fields)] で、各リモート接続先プロフィールに定義するデバイス フィールド名を選択します。[デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスで、デバイス フィールド名をクリックしてから矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] ボックスに移動します。
- CSV データ ファイルには、[Remote Destination Profile Name] および [Description] を含める必要があります。したがって、これらのフィールドは常に選択された状態になっています。
-   
**ヒント** Ctrl キーを押しながらリスト内の複数のフィールド名を任意に選択し、次に矢印をクリックすると、その複数のフィールドを同時に選択することができます。Shift キーを使用すると、特定範囲の項目を複数同時に選択することができます。
- ステップ 4** [回線フィールド (Line Fields)] ボックスで回線フィールド名をクリックしてから矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスに移動します。
-   
**ヒント** [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] および [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックス内の項目の順序は変更できます。項目を選択し、上向き矢印を使用してその項目をリストの前方に移動させるか、または下向き矢印を使用してその項目をリストの後方に移動させます。
- ステップ 5** [IP Phone サービスの最大値 (IP Phone Service Maximums)] 領域の [回線の最大数 (Maximum Number of Lines)] フィールドに最大値を入力します。
- ステップ 6** カスタム ファイル形式を保存するには、[保存 (Save)] をクリックします。ファイル形式の名前が、[リモート接続先プロフィールのファイル形式の検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile File Formats)] ウィンドウの [名前 (Name)] リストに表示されます。

### 追加情報

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## ファイル形式のコピー

CSV データ ファイルの既存の形式をコピーする手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** 「リモート接続先のファイル形式の検索」(P.59-7) の手順に従って、コピーするリモート接続先プロファイルのファイル形式を検索します。
- ステップ 2** [ 検索結果 (Search Results) ] 領域で、コピーするファイル形式を選択します。[ リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration) ] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [ コピー (Copy) ] をクリックして選択されたファイル形式をコピーします。



**(注)** [ リモート接続先プロファイルのファイル形式の検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile File Formats) ] ウィンドウで、対応する [ コピー (Copy) ] アイコンをクリックして、ファイル形式をコピーすることもできます。

---

- ステップ 4** [ 形式名 (Format Name) ] フィールドに、コピーした形式の新しい名前を入力します。
- ステップ 5** 次の方式のいずれかを使用して、コピーした形式を修正します。
- 新しいフィールドを追加するには、[ デバイスフィールド (Device Fields) ] ボックスまたは [ 回線フィールド (Line Fields) ] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを [ 選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields) ] または [ 選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields) ] の [ ソート順 (Order) ] ボックスに移動します。
  - フィールドを削除するには、[ 選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields) ] または [ 選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields) ] の [ ソート順 (Order) ] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを [ デバイスフィールド (Device Fields) ] ボックスまたは [ 回線フィールド (Line Fields) ] ボックスに移動します。
  - フィールドの順序を変更するには、[ 選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields) ] または [ 選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields) ] の [ ソート順 (Order) ] ボックスのフィールド名を選択し、上向き矢印または下向き矢印を使用してフィールドの位置を変更します。
- ステップ 6** 変更を加えたら、[ 保存 (Save) ] をクリックして、コピーしたファイル形式を変更内容とともにリストに保存します。
- 

### 追加情報

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## ファイル形式の修正

CSV データ ファイルの既存のファイル形式を修正する手順は、次のとおりです。修正できるのは、カスタム形式だけです。

### 手順

- 
- ステップ 1** 「リモート接続先のファイル形式の検索」(P.59-7) の手順に従って、コピーするリモート接続先プロファイルのファイル形式を検索します。

**ステップ 2** [検索結果(Search Results)] 領域で、修正するファイル形式を選択します。[リモート接続先プロフィールのファイル形式の作成(Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 次の方式のいずれかを使用して、コピーした形式を修正します。

- 新しいフィールドを追加するには、[デバイスフィールド(Device Fields)] ボックスまたは[回線フィールド(Line Fields)] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを[選択済みのデバイスフィールド(Selected Device Fields)] または[選択済みの回線フィールド(Selected Line Fields)] の[ソート順(Order)] ボックスに移動します。
- フィールドを削除するには、[選択済みのデバイスフィールド(Selected Device Fields)] または[選択済みの回線フィールド(Selected Line Fields)] の[ソート順(Order)] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを[デバイスフィールド(Device Fields)] ボックスまたは[回線フィールド(Line Fields)] ボックスに移動します。



**(注)** [Remote Destination Profile Name] および [Description] の必須フィールドは削除できません。

- フィールドの順序を変更するには、[選択済みのデバイスフィールド(Selected Device Fields)] または[選択済みの回線フィールド(Selected Line Fields)] の[ソート順(Order)] ボックスのフィールド名を選択し、上向き矢印または下向き矢印を使用してフィールドの位置を変更します。

**ステップ 4** 変更を加えたら、[保存(Save)] をクリックして変更内容をファイル形式に保存します。

#### 追加情報

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## ファイル形式の削除

CSV データ ファイルの既存のファイル形式を削除する手順は、次のとおりです。削除できるのは、カスタム形式だけです。

#### 手順

**ステップ 1** 「リモート接続先のファイル形式の検索」(P.59-7) の手順に従って、コピーするリモート接続先プロフィールのファイル形式を検索します。

**ステップ 2** [検索結果(Search Results)] 領域で、削除するファイルが正しいことを確認し、チェックボックスをオンにして形式を選択します。

**ステップ 3** リストからファイル形式を削除するには、[選択項目の削除>Delete Selected)] をクリックします。ファイル形式の削除を確認するメッセージが表示されます。[OK] をクリックして続行します。ファイル形式名がリストから削除されます。



**(注)** [選択項目の削除>Delete Selected)] をクリックする前に、表示された結果のリストを全部確認してください。

#### 追加情報

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け

テキスト エディタを使用して CSV データ ファイルを作成した場合は、テキストベースのファイルに値を入力するためのファイル形式をすでに作成したということになります。値は、ファイル形式で指定されている順序でテキスト ファイルに入力済みです。

CSV データ ファイルが完成したら、ファイル形式をテキストベースの CSV データ ファイルに関連付ける必要があります。ファイル形式を CSV ファイルに関連付けると、各フィールドの名前は CSV データ ファイルの最初のレコードとして表示されます。この情報を使用して、各フィールドの値を正しい順序で入力してあることが確認できます。

テキストベースの CSV データ ファイルでファイル形式を追加する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の追加 (Add File Format)] の順に選択します。[ファイル形式の追加 (Add File Format)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成したテキストベースの CSV ファイルを選択します。
- ステップ 3** [形式ファイル名 (Format File Name)] フィールドで、このタイプのバルク トランザクション用に作成したファイル形式を選択します。
- ステップ 4** 一致するファイル形式を CSV データ ファイルに関連付けるジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 5** [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

---

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロファイルの挿入

[一括管理 (Bulk Administration)] メニューを使用すると、Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル) を一括して挿入できます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページを通じて個々に更新する必要はありません。

### 始める前に

- 追加するデバイスには、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) リモート接続先プロファイルテンプレートが必要です。
- リモート接続先プロファイルに固有の詳細を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。
- トランザクションのための該当ターゲットと機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。

**追加情報**

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager へのリモート接続先プロファイルの挿入

次の手順を使用して、リモート接続先プロファイルを Cisco Unified Communications Manager に挿入します。

**手順**

- 
- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル(Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルの挿入(Remote Destination Profile Insert)] の順に選択します。
- [リモート接続先プロファイルの挿入 (Insert Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、この固有のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [リモート接続先プロファイルテンプレート (Remote Destination Profile Template)] ドロップダウン リスト ボックスで、このバルク トランザクション用に作成した BAT リモート接続先プロファイル テンプレートを選択します。



---

**(注)** リモート接続先プロファイルを挿入する場合は、リモート接続先プロファイル テンプレートはオプションです。リモート接続先プロファイル テンプレートを選択しない場合は、CSV データ ファイルに「Desk Phone Name」が含まれていることを確認してください。

---

- ステップ 4** [既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにすると、既存のリモート接続先プロファイルの設定が、挿入するファイルに含まれている情報によって上書きされます。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックしてリモート接続先プロファイルのレコードを即座に挿入するか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして後で挿入します。
- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、リモート接続先プロファイルのレコードを挿入するジョブを作成します。
- ステップ 8** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 82 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「BAT ログ ファイル」(P.83-3) を参照してください。

---

**追加情報**

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロファイルの削除

[一括管理(Bulk Administration)]メニューを使用すると、Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル)を一括して削除およびエクスポートできます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページを通じて個々に更新する必要はありません。

## カスタムファイルを使用したリモート接続先プロファイルの削除

テキストエディタを使用して、削除するリモート接続先プロファイルのカスタムファイルを作成することができます。同一のカスタムファイルの中に、MAC アドレスとデバイス名の両方を含めることができますが、電話番号は同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1 つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1 つのファイルには電話番号を含めます。

### 始める前に

1. 削除する RDP について次の詳細のいずれかを記載するテキストファイルを作成します。
  - [名前(Name)]
  - [説明(Description)]
  - [デバイスプール(Device Pool)]
  - [コーリングサーチスペース(Calling Search Space)]
2. テキストファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. カスタムファイルを Cisco Unified CallManager サーバにアップロードします。ファイルのアップロードの詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3)を参照してください。

カスタムファイルに記載されている RDP を削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル(Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルの削除(Remote Destination Profile Delete)]の順に選択します。
- [リモート接続先プロファイルの削除 (Delete Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除 リモート接続先プロファイル、検索条件:(Delete Remote Destination Profile where)] ドロップダウンリストボックスで、作成したカスタムファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。
- [名前 (Name)]
  - [説明 (Description)]
  - [デバイスプール (Device Pool)]
  - [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
- ステップ 3** カスタムファイルのリストで、この削除用のカスタムファイルのファイル名を選択します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。検索条件に一致する RDP のリストが表示されます。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプションボタンをクリックして RDP レコードを即座に削除するか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして RDP レコードを後で削除します。

- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、RDP レコードを削除するジョブを作成します。
- ステップ 8** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

#### 追加情報

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## リモート接続先プロファイルのエクスポート

エクスポートユーティリティを使用すると、複数の Cisco Unified CallManager サーバ上のレコードを 1 台の Cisco Unified CallManager サーバにマージできます。Cisco Unified CallManager サーバから別の Cisco Unified CallManager サーバにレコードを移動する手順は、次のとおりです。

## リモート接続先プロファイルのエクスポートの使用

リモート接続先プロファイルの詳細をエクスポートする手順は、次のとおりです。

#### 手順



(注)

エクスポートするリモート接続先プロファイルを選択した後、2 番目の [リモート接続先プロファイルのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウからヘルプにアクセスしている場合は、[ステップ 7](#) に進みます。

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルのエクスポート (Remote Destination Profile Export)] の順に選択します。
- [リモート接続先プロファイルのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [検索 リモート接続先プロファイル、検索条件:(Find Remote Destination Profile where)] ドロップダウンリスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
- [名前 (Name)]
  - [説明 (Description)]
  - [デバイスプール (Device Pool)]
  - [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
- 2 番目の [検索 リモート接続先プロファイル、検索条件:(Find Remote Destination Profile where)] ドロップダウンリスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
- [が次の文字列で始まる (begins with)]
  - [が次の文字列を含む (contains)]
  - [が次の文字列で終わる (ends with)]
  - [が次の文字列と等しい (is exactly)]



- [ が空である (is empty)]
- [ が空ではない (is not empty)]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべてのリモート接続先プロファイルを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

**ステップ 4** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 2 ~ 3 を繰り返します。

**ステップ 5** [検索 (Find)] をクリックします。

検索されたリモート接続先プロファイルが、次の項目別に表示されます。

- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]



**(注)** ジョブを送信する前に、表示された結果のリストを全部確認してください。

**ステップ 6** [次へ (Next)] をクリックします。

次の [リモート接続先プロファイルのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 7** [ファイル名 (File Name)] フィールドにエクスポート ファイル名を入力します。

**ステップ 8** [ファイル形式 (File Format)] ドロップダウン リスト ボックスで、ファイル形式を選択します。

**ステップ 9** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。デフォルトの説明は、「Delete Remote Destination Profiles」です。

**ステップ 10** [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックしてリモート接続先プロファイルのレコードを即座にエクスポートするか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして後でエクスポートします。

**ステップ 11** [送信 (Submit)] をクリックして、リモート接続先プロファイルのレコードを削除するジョブを作成します。

**ステップ 12** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル \(P.83-3\)](#)」を参照してください。



## Default Remote Destination Profile ファイル形式

Default Remote Destination Profile ファイル形式オプションを使用してリモート接続先プロファイルのレコードをエクスポートする場合は、そのリモート接続先プロファイルに関連付けられた各種の回線アトリビュートとともにレコードをエクスポートします。クエリーを使用してレコード数を制限することはできません。

表 59-2 に、Default Remote Destination Profile Format ファイル形式を選択した場合にエクスポートされるフィールドを示します。

**表 59-2 Default Remote Destination Profile ファイル形式でエクスポートされるフィールド**

フィールドの種類	エクスポートされるフィールド
デバイス フィールド	Remote Destination Profile Name、Description、User ID、Device Pool、CSS、AAR CSS、Media Resource List、User Hold Audio Source、Location、Privacy、Device Presence Group、Rerouting CSS
回線フィールド	Directory Number、Partition、Voice Mail Profile、Line CSS、AAR Group(Line)、Line User Hold Audio Source、Line Network Hold Audio Source、Forward All Destination、Forward All CSS、Forward Busy Internal Destination、Forward Busy Internal CSS、Forward Busy External Destination、Forward Busy External CSS、Forward No Answer Internal Destination、Forward No Answer Internal CSS、Forward No Answer External Destination、Forward No Answer External CSS、Forward No Coverage Internal Destination、Forward No Coverage Internal CSS、Forward No Coverage External Destination、Forward No Coverage External CSS、Forward No Answer Ring Duration、Call Pickup Group、MLPP Target、MLPP CSS、MLPP No Answer Ring Duration、External Phone Number Mask、Maximum Number Of Calls、Busy Trigger、Alerting Name、Alerting Name ASCII、Display、Line Description、Line Presence Group、Secondary CSS For Forward All、ASCII Display、Forward On CTI Failure Destination、Forward On CTI Failure CSS、AAR Destination Mask、Forward Unregistered Internal Destination、Forward Unregistered Internal CSS、Forward Unregistered External Destination、Forward Unregistered External CSS、Hold Reversion Ring Duration、Hold Reversion Notification Interval

### 追加情報

「関連項目」(P.59-18) を参照してください。

## 関連項目

- 「リモート接続先プロファイル テンプレート」 (P.59-1)
- 「リモート接続先プロファイルのファイル形式」 (P.59-7)
- 「リモート接続先プロファイルの挿入」 (P.59-12)
- 「リモート接続先プロファイルの削除」 (P.59-14)
- 「リモート接続先プロファイルのエクスポート」 (P.59-15)